

夏まるかじりツアー

8月2日(金) ~ 8月4日(日)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設向け出発	川遊び	ナイトハイク
2日目	野外炊飯	グループタイム	キャンプファイヤー
3日目	清掃・工作	施設を出発・解散	

一日目： 尼崎駅に全員が集まり、キャンプがスタートしました。途中のサービスエリアでグループに分かれ、最初の全体プログラムである川遊び場所に向かいました。到着後、お弁当を食べ、川遊びが始まると、どこを見ても笑顔で溢れていました。川に住む生き物を探したり、川の流りに身を任せて流れたり、楽しい川遊びがみんなの不安を吹き飛ばしてくれました。川遊びの片付けを済ませ、施設へ入所しました。夕食は、施設の食堂で頂きました。沢山遊んだ分、とてもお腹が減っていたようで、おかわりするメンバーが多くおられました。入浴後、部屋で荷物整理やシーツ準備を行い、外が少し暗くなった頃にナイトハイクへ出掛けました。最初は「暗いから怖い。」と話していたメンバーも次第に目が慣れてくると、グループの友達と自然の音に耳を傾けておられました。また、空が広く、星がとても綺麗に見えたので、ベンチに座って長い時間星を眺めて過ごしました。



二日目： 二日目は朝から張り切る姿が見られました。朝食作りと昼食作りに必要な持ち物をサブリュックに詰め、野外炊飯場へ移動して朝食作りに取り掛かりました。朝食は、牛乳パックを利用したホットドックを作りました。朝食の片付けをして少しすると、次は昼食の『カレーライス』作りを始めました。カレーライス作りでは火起こしも自分達で行う為、グループ内で役割を分担しました。かまど係は、燃料となる枝を拾い集め、新聞紙や薪を組み合わせて火をおこす準備をしました。お米係は、丁寧に米を研ぎ、難しい水の量り方に挑戦しました。野菜係は、食べやすい大きさを相談しながら包丁やピーラーで具材を切り分けました。頃合いを見てかまどに飯盒やお鍋置き、火をつけました。火の調節や出来上がり具合は、みんなで交代しながら確認しました。ご飯とカレーが完成すると、とても満足そうな表情で頬張っておられました。片付けのお皿やお鍋を磨く作業は根気のいる作業でしたが、一人一人が出来る事を見つけ、頑張りました。朝から暑い中動き続けていたことを考慮し、一度部屋に戻り休憩をしました。休憩後、研修室でレクリエーションやファイヤーで踊るダンスを練習しました。そして、日が落ちた頃から外に出てキャンプファイヤーを楽しみました。大きな声を出し、ゲームとダンスで盛り上がりました。



三日目： 最終日の朝は自分の身支度に加え、布団畳みや部屋の清掃など、やる事が沢山ありましたが、高学年メンバーが率先してやり方を伝えながらテキパキ動いておられました。朝の集いと朝食を済ませ、荷物を部屋から運び出しました。そして、施設での最後のプログラムである思い出工作をしました。焼き板のすずをブラシで落とし、キャンプで思い出に残っている事の絵を描きました。ナイトハイクで見た星空、野外炊飯で作ったカレーライス、みんなで盛り上がったキャンプファイヤーなど、グループの友達と思い出話をしながら描き進めていきました。最後の食堂での昼食時や、帰りのバスの中でもお喋りが尽きる事はなく、賑やかに尼崎駅へと戻ってきました。「また、一緒にグループになりたいね！」と友達と話さず姿が微笑ましかったです。



<キャンプ総括>

今回は年長から六年生の幅広い年齢層のメンバーが集まりました。学年や地域、キャンプ経験はバラバラですが、どのメンバーもグループで過ごしている時が本当に楽しそうでした。初めまでのメンバーの中だからこそ発揮できる一面もあったように思いました。意見が合わなかったり、おふざけから喧嘩をしてしまったり、色々な事がありましたが、沢山話す事で解決しようとする姿が見られました。また、友達に寄り添う高学年メンバーとその優しさに応えるように頑張る低学年メンバーの姿は、縦割りグループならではの良さだと感じました。(生本 ひろみ)